

○毎時間出席をとります。

この時、教員へ返事が確実に届かない場合は、1欠課扱いとなります。

例えば、自分は返事をしているつもりでも、周りの状況が騒がしく「返事」が教員へ届かない場合。自分自身で周りの学生に対して注意を促してください。

○出席日数について

60 時間の開講時間を基本としますが、学事行事その他の都合により開講時間が少なくなる場合には、実質開講時間の 3 分の 2 以上の出席とする。例えば、28 回開講の場合には、9.33 回の欠課で不合格となります。(休講の場合を除く。)

○中間・期末試験について

前期・後期の中間及び期末試験は、実施しません。試験を実施しない代わりに、課題の提出をもって評価を行います。

○課題の提出について

講義は、課題を通じてデザインに関する技術の取得や理解を求めます。課題を完成させるまで、アイデアチェックやモデルチェックなどの段階を踏み提出となります。その各チェック時及び提出日の期限を厳重に守ってください。

提出作品評価について

課題のチェック時及び提出後、100 点法で評価をします。この 100 点法評価の学年通年で計算を行い、学年末の評価となります。

注意点

課題のチェック日及び提出日が重要となります。

- 1 課題のチェック日及び提出日の授業時間内に提出・評価を受けたものは 100 点満点で評価を行います。
- 2 課題チェック日及び提出日に作品を忘れるなどの未チェック・未提出課題の評価は、その授業時間内には行えませんので次回授業時間終了後及び前期及び後期学期終了までに再度提出し評価を受けて下さい。この時の評価点は、60 点満点法で評価を行います。
- 3 課題作品が一つでも未提出や評価を受けていない場合には、学年末評価を行いません。

○講義について

- 1 スケッチブック (A4 サイズ以上) と鉛筆 (B 以上の濃さ) を必ず持参のこと。
- 2 課題の種類に応じて使用する道具 (カッター / カッターマット / 接着剤 etc) が異なります。その都度指示を行います。忘れないように持参すること。
- 3 課題作品を制作するさいには、技法書などを各自求めて自分なりの考え方などを持って作品へ応用すること。
- 4 接着剤などやカッター、マーカー絵の部などを使用しますので、汚れても洗濯が可能な服を着用すること
- 5 参考図書などは必要に応じて提示しますので、各自書店等において購入するなどして下さい。
- 6 講義に使用する画材は、各自画材店や文具店などにおいて事前に購入して下さい。
- 7 携帯電話メール及び私語については、学生としての基本を忘れないよう行動して下さい。

参考図書

現代デザイン事典 ISBN 4-582-12924-2

勝井三雄／監修 田中一光／監修 向井周太郎／監修
伊東順二／編集委員 柏木博／編集委員
平凡社、2005年3月発行 価格：3,360円

デザインの世界をみざす君へ ISBN 4-8048-0192-8

藤澤英昭 監修 小笠原登志子・山本輝之・浅香崇・
長澤忠徳・小塚和夫 編集 ダヴィッド社

芸術・デザインの平面構成 ISBN:4897370345

朝倉直巳 六耀社 1984/07 出版 販売価 :3,990(税込)円
在庫が僅少です。品切れの場合お取り寄せとなります。

形態・コンポジション・発想法や、その他平面造形に関する技法や材料の効果を細かく丁寧に解説。「立体感」「運動感」を感じさせる画き方、「リズム」「透明感」や、その他の「錯視」表現など、造形表現に関する基本的に重要な事項を含む。学生の作品制作のために、具体的な方法(技法)にも考慮している。

■目次

基礎造形としての平面構成／平面構成のめざすもの／材料と道具／形態構成のエレメント／配置と増殖／分割と比例／調和と対比／錯視／無理図形／立体感の表現／透明感の表現／ムーブメント／リズム／変形と変態／発想法の開発／材料の造形的可能性の探究

芸術・デザインの立体構成 ISBN:4897371694

六耀社 (1992-12-21 出版)

・朝倉 直巳【編著】販売価 :¥3,990(税込)円

在庫が僅少です。品切れの場合お取り寄せとなります。

1章 立体構成の意義と目的 2章 コンポジション
3章 コンストラクション 4章 運動と錯視
5章 技法の開拓

立体構成では制作をする場合に「重力」がかかわってくる。そこから「構造」の問題が起きる。さらに「素材」は非常に大切であり、大きな影響を及ぼす。点・線・面・立体? というように次元で分類した形の要素においても、平面上で行う場合にはなかった問題が生じる。「空間」においても二次元と三次元のスペースとは全く異なる。このような事柄と形とのかかわり方を追究。形の視覚的效果「コンポジション」と構造や機能から考える「コンストラクション」に分け、「要素」「素材」「力と構造」「形の平面化・立体化」「ジョインティング」「運動と錯視」について解説。

■基礎造形としての立体構成／点／線／面／立体／空間／木／金属／紙／プラスチック／セラミック／光／新素材／構造と力／突っ張り／引っ張り／立体化⇔平面化／点接合／布とひも／メカニズムの基礎／自然の力で動く造形／人工の力で動く造形／立体錯視／視角指定立体／立体の分割／集合による構成／積層と漸変

本授業「CG演習」参考図書

AXIS (アキシス)

ASIN: B0013NREMU

出版社: アキシス; 隔月刊版

役立つデザイン情報を集約したデザイン誌

本授業「CG演習」参考WEB

登竜門

<http://compe.japandesign.ne.jp/>

デザインコンペの情報が集約されています。